古石ひでさと5期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石 後援会だより

URL：http://古石.com/

第３１７２号
発行日　令和２年５月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

新たな日常生活へ一歩前進

新たな日常へ一歩

緊急事態宣言解除

経済動き出す・再拡大が不安

道内「両立」手探り

1カ月半近くに及んだ新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言が25日に解除され、道内の事業者に「ようやく地域経済が動き出す」と安堵の声が広がった。一方で、道内の新規感染者は収まったとは言えない。市民の間には「油断すれば第3波、第4波が発生しかねない」と再拡大への不安が根強く、経済活動との両立に向けて複雑な思いが交錯する。専門家は「感染予防を徹底してほしい」と警戒を緩め過ぎないよう呼び掛ける。（1面参照）

旭川市の居酒屋「お酒とごはん　みたり」など2店を経営する熊谷福喜さん(43)は緊急事態宣言の解除に「これで少しでも客足が戻れば」と期待を寄せる。休業後、今月16日に営業を再開し、密集・密接・密閉を避ける「新しい生活様式」に合わせて席数を半分に減らした。

さらに夜の営業のみだった2店で売り上げを確保するため、日中のテークアウトも始めた。熊谷さんは「営業時間が短く、従業員の勤務時間も増えている。売り上げを伸ばすためには、経営方法も変えないといけないが、なかなか追いつかない」と話した。

札幌市中央区のタクシー運転手佐藤一治さん(59)は、中心部の人通りの少なさを実感する。主な客だった国内外の観光客や通院する高齢者は半減し、「しばらく客足は戻らないと思う。道民の暮らし方も変わってくるのだろうが、影響がどこまで出るか…」と声を落とす。

宣言終了後の政府の経済支援策に期待する声も。函館ホテル旅館同業組合の遠藤浩司理事長は「ここ3カ月は観光客がほぼゼロだったが、夏のハイシーズンの宿泊予約がポツポツと入り始めている。国には国内客を対象とした観光振興策を実行してほしい」と話す。

宣言の解除と同時に、道の休業要請も大幅に緩和されたが、カラオケ店など一部の業種で引き続き休業が求められている。4月中旬から休業している札幌のカラオケ店の男性店長(40)は「カラオケ店は感染リスクが高いという印象が必要以上に強調されている」と憤り、「1人カラオケ」に限定したり、マスク着用で歌ってもらうなど対策次第で営業を再開する道はあるはずだ」と訴える。

客室の明かりで北海道の形を描いたJRタワーホテル日航札幌＝25日午後8時ごろ、札幌市中央区（金田淳撮影）

客室から光のエール　JRタワーホテル

JRタワーホテル日航札幌は25日、新型コロナウイルスによる需要減で休業中の同ホテル客室の窓を利用して、北海道の形と笑顔のマークを描くライトアップを始めた。

「一日でも早く日常を取り戻し、北海道が笑顔になるように」との思いを込めて初めて企画。31日までの7日間、午後7～10時に実施する予定。25日は南側に北海道の形、北側に笑顔のマークを映し出し、今後は1日おきに南北を入れ替えて点灯する。

道内で最も高い地上38階建て高さ173㍍を誇るJRタワーのうち、同ホテルの客室は23～34階で全342室。北海道の形は53室、笑顔マークは16室を使って映し出した。同ホテルは4月25日から休業している。（榎本雅也）

学校再開に安堵　感染リスク警戒

緊急事態解除で管内市民賛否

経済回復「しばらく先」

政府が25日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の全面解除を決めたことを受け、空知管内の市民からは安堵の声がある一方、新たな感染への不安も広がる。引き続き休業を求められているナックやバーなどの飲食店経営者からは「耐え続けているが、そろそろ限界だ」とした声も漏れる。

「（宣言が）解除されたからと言って、急に暮らしが変わるわけじゃないけど、ほっとした気持ちにはなる」。岩見沢市内のスーパーで買い物中の市内の女性(82)は話す。4月の「宣言」発令以降、外出は控えているといい、「しばらくは今のまま自粛を続けるつもり」。

6月からの再開に向けて準備が進む管内の小中高校。高校3年の受験生を持つ滝川市内の女性会社員(47)は、休校や分散登校が続いていることに「2カ月間授業がほとんどなかったことは受験生には特につらい。本来は学校で勉強できたのに、家では集中しづらかったと思う」と振り返る。

学校再開には「ほっとしているが、（感染が再拡大する可能性もあり）先が分からないので不安もある。休校中も先生は細かく連絡をしてくれたので、再開後も面談などで生徒の状況を確認してほしい」。

高校1年の長女、小学6年の長男の2人の子どもがいる岩見沢市のパート従業員遠藤久美子さん(42)は「息子はサッカーが大好きなので、少年団活動も早く再開してほしい」としながらも、学校再開で感染リスクが上がるのではないかと不安があるという。

「宣言」の解除後も、地域経済の回復には時間がかかるとの見方が強い。JR岩見沢駅前で客待ちをしていたタクシー運転手金子修二さん(62)は「解除になっても、『待ってました』と言うほど客が戻るとは思えない」。1日の勤務で平均40組あった乗客は2月末以降、10組ほどに減り、5万～6万円あった1日の売り上げも1万円に届かない日もあるという。「完全な感染収束が見込めないのがつらい」と嘆く。

休業要請が続く業界からはため息も漏れる。深川市内のライブバー「メルティングポット」は4月末から休業。6月から営業再開の予定だが、経営する岩崎雄一さん(64)は「住民には外に出ない癖のようなものがついてしまったのでは」。「『宣言』が解除されても、元に戻るのはまだしばらく先。難しい時期が続くだろう」と肩を落とした。

コロナ対策200兆円超

ひとり親に5万円、中小企業に家賃支援

安倍晋三首相は25日の記者会見で、新型コロナウイルスの経済対策の事業規模を、2020年度第1次補正予算と2次補正予算案を合わせて200兆円超にすると表明した。1次補正の事業規模は117兆円で2次補正は100兆円程度になる見通し。困窮するひとり親に5万円を支給するほか、売り上げの急減した中小企業への家賃支援も行う。1次補正で1兆円を確保した自治体向け臨時交付金は2兆円増額する。27日に閣議決定し6月12日までの成立を目指す。事業規模には民間投資分も含んでおり、実際の財政支出の金額を大きく上回る。4月に決定した1次補正は国や地方の財政支出48兆円だった。

2次補正には、業績が悪化している企業への12兆円規模の資本支援策なども盛り込む方向だ。安倍首相は「（1次と2次の）総額で130兆円を超える資金繰り支援を実施する」と説明した。

2次補正の家賃支援策では、新型コロナの影響で売り上げが急減している中小企業を対象に、1カ月当たり50万円を上限に家賃の3分の2までを半年分補助する「家賃支援給付金（仮称）」を導入。個人事業主にも最大月25万円を給付する。複数店舗を所有するなど家賃負担の重い企業には給付上限額を100万円、個人は50万円に引き上げる例外措置を設け、給付額は半年で最大600万円となる。

ひとり親家庭支援では、児童扶養手当を支給している所得水準が比較的低い家庭に対し、5万円を給付する。第2子以降は3万円。

緊急事態宣言を担当する西村康稔経済再生担当相は4月7日の最初の指定について、累積感染者数は人当たり5人以上を目したと言及。東京都で日当たりで100人にする。倍になる時間は1経路不明の割合は半数としてきた。今後は「な波が大きくなりかけきは見逃さずに再指定くてはならない」と経路不明の感染者が30度となった時点など、厳しい水準を検討して、とする。

再指定の目安となるについて、専門家会議身茂副座長（政府の諮員会会長）は、30分程ウイルスを検出できる検査の活用方法や治療効果などが明らかになくれば「もう少しした根拠を持って出せと述べ、事態の推移を当りながら再指定の前に示す考えを示した。

宣言再指定に3指標

専門家会議提示　数値は示さず

政府は、新型コロナウイルス流行に伴う緊急事態宣言の解除後、再び感染拡大が確認されれば速やかに再指定する必要があるとしている。その判断材料となるのが、専門家会議が示した感染者数などの三つの指標だ。ただ具体的な数値は示されておらず、混乱を招く可能性がある。

政府の専門家会議が示した再指定の指標は、直近1週間の①人口10万人当たりの累積感染者数②感染者数が倍になる時間③感染経路が不明な人の割合―だ。

緊急事態宣言再指定の3指標

直近1週間の
1. 人口10万人当たりの累積感染者数
2. 感染者数が倍になる時間
3. 感染経路が不明な人の割合

2歳未満はマスクやめて

小児科医会　窒息、熱中症懸念

日本小児科医会は25日、2歳未満の子どもはマスクの着用をやめるべきだとの見解を公表した。窒息や熱中症の危険があると警告する一方、新型コロナウイルス感染による子どもの重症化は少ないと指摘している。

同会によると、成人と比べ気管が狭いため、マスクをすると呼吸しにくくなり窒息の恐れがあるほか、心臓に負担がかかる。嘔吐した際に窒息につながる危険性も増す。体内に熱がこもって熱中症のリスクが高まることや、顔色や表情の変化から体調の異変に気付くのが難しくなることも懸念される。

世界的に子どもの感染例は少なく、幼稚園や保育園、学校での集団発生はほとんどないという。同会は「新型コロナ感染症は、子どもにとって今のところ心配が少ないようだ」と分析した。